お詫びと訂正

『膠原病に伴う間質性肺疾患 診断・治療指針 2020』第 1 版第 2 刷に下記の修正がございました。

■p.98　第 2 章 各論 2 全身性強皮症
「表 1 SSc-ILD に対する主な治療薬」
【誤】POCY 投与法/用量 経口/1～2kg/日を 12 ヵ月間
↓
【正】POCY 投与法/用量 経口/1～2mg/kg/日を 12 ヵ月間

■p.108　第 2 章 各論　3 関節リウマチ
「表 2　RA-ILD に対する治療および効果に関する報告」
「文献 Fernández-Díaz C et al, 2018」の「初期治療反応」欄

【誤】12ヵ月まで評価できた 23 例
改善, N=14；安定, N=7；悪化, N=2
↓
【正】12ヵ月まで評価できた 23 例
改善, N=7；安定, N=14；悪化, N=2

■p.117　第 2 章 各論 4 シェーグレン症候群
「4 pSS-ILD の合併症，予後・予後因子，死因」
「③合併症」欄 上から 3 行目
【誤】pSS-ILD 患者 17 名のうち 7 名(16%)で急性増悪を認めたという報告もある [46]。
↓
【正】pSS-ILD 患者 18 名での検討では，死亡例 7 名のうち 3 名(17%)で急性増悪を認めたという報告もある [46]。

■p.54　第 1 章 総論　6 診療において重要な身体所見
「図 12　全身性強皮症の皮膚病変」出典

【誤】C-E：横浜市立大学大学院医学研究科 環境免疫病態皮膚科学
山口由衣先生よりご提供

↓

【正】C：横浜市立大学大学院医学研究科 環境免疫病態皮膚科学 山口由衣先生よりご提供．D,E：文献 29 より引用

■p.55　第 1 章 総論　6 診療において重要な身体所見
References に下記 29)を追加し、29)を 30)に、30)を 31)に変更
（p.53 本文中の引用番号も併せて変更）

【修正後】

29） 藤本 学．全身性強皮症と毛細血管拡張．竹原和彦，桑名正隆，宮地良樹 編．カラーで見る新・膠原病―診断と治療の最新ポイント 皮膚から内臓へ．東京：診断と治療社；2002. p.133.

30） Hojaili B, Barland P. Trigeminal neuralgia as the first manifestation of mixed connective tissue disorder. J Clin Rheumatol.2006；12：145-7.

31） Fischer A, Antoniou KM, Brown KK, et al. An official European Respiratory Society/American Thoracic Society research statement：interstitial pneumonia with autoimmune features. The European respiratory journal. 2015；46：976-87.

ご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、謹んで訂正申し上げます。

一般社団法人　日本呼吸器学会
一般社団法人　日本リウマチ学会
日本呼吸器学会・日本リウマチ学会合同
膠原病に伴う間質性肺疾患 診断・治療指針 2020 作成委員会